

令和2年度(2020年度)第二回 熊本市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 質疑一覧

【議題2】熊本市子どもの未来応援アクションプラン 令和元年度 進行管理

NO	委員氏名	分類	意見	回答
1	木村委員	一般的に	<p>全ての検証指標が目標値に達していません。計画初年度であったこともあると思いますが、コロナの影響は大きかったと思います。</p> <p>コロナ禍だから出来ない状況も理解しますが、「コロナ禍だから、この施策を推進した」「コロナ禍に伴う臨時計画を策定し、実施した」ということはないのでしょうか。</p> <p>本計画は、子どもの貧困対策を冠にする計画ですので、今年度については、厳しい状況が続いていることから、より丁寧な報告が求められると思います。</p>	<p>ご指摘のとおり、令和元年度は本計画の初年度であり、令和5年度の目標値に向け、取組を開始したところです。</p> <p>このような中、新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、令和2年度においては、ひとり親世帯臨時特別給付金の支給や児童虐待リスクに対応するための見守り強化等に取り組んだところです。</p> <p>本計画を推進するうえで新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた施策を展開することは重要であると認識しておりますので、令和2年度の取組や実績については、次年度にご報告させていただきます。</p>
2		P12 児童育成クラブ管理運営経費	<p>児童育成クラブの環境整備は、今後も必須事項となると思います。施設・環境整備をした上で、希望者を広く受け入れることを徹底することが必要。受入を先行すると、児童の置かれる環境が心地良いものにならないため配慮が重要だと思えます。</p>	<p>保護者の就労支援の観点から、公営の児童育成クラブについては、入会要件を満たす全ての児童を受入れています。児童が落ち着いて過ごせるよう、狭陰解消のため、狭い施設のクラブから計画的に整備を行うとともに、室内(床や壁等)の補修にも取り組んでいきます。</p> <p>なお、今般の新型コロナウイルス感染を防止するため、学校の協力を得て、授業後の特別教室等を利用して密を避けた受け入れを行っているところです。</p>
3	松本委員	P14 病児・病後児保育事業に関連して	<p>病児保育の受け皿を充実させるのと並行して、保護者が子の看護のための休暇を取れる体制を整備することも重要だと思います。関係課と連携し、利用状況を把握するとともに、仕事と子育てを両立できる環境づくりのための休暇取得に際しての弊害等も調査し、改善すべきではないかと感じます。</p>	<p>本市では、子育て世帯が安心して仕事と子育ての両立ができる環境づくりを進めるため、働きやすい職場環境の整備を進める企業を「子育て支援優良企業」として認定しております。</p> <p>引き続き本認定制度の推進を図るとともに、ご意見を関係課と共有し、今後の施策の参考にいたします。</p>
4		P19～ 支援が必要な家庭を支える体制づくり	<p>産後うつなど子育てに伴う症状が表れている人が増加傾向にあるのではないかと懸念します。体制の強化や必要な人に必要な情報が届くようにすることは引き続き重要になるかと思えます。</p>	<p>産後1か月健診時に行う産後うつに関するアンケート結果では、R2年4月から9月の状況は前年度と大差はありませんでした。しかしながら、不安を抱えて子育てをしている方が増加していることも予測されます。</p> <p>子育て支援については、全ての家庭を対象とするこんにちは赤ちゃん事業等で情報提供する他、結婚・子育て応援サイトや市公式LINE等を活用した周知も行っております。また、地域団体や関係機関との連携も行き、様々な立場から支援に繋がるよう、情報共有を行なうなどして、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを図ってまいります。</p>

(敬称略,五十音順)